

留学生の雇用、その可能性について

留学生のくはたらく場)について考察する。

留学生の雇用の可能性【Employability】は、すべての国にとって重要なテーマです。伝統的な留学大国である英国は、具体的に動き始めています。

英国を留学先として検討している学生たち。彼ら彼女らは、英国で得る資格によって、企業への就職の可能性を大きく広げます。しかし学生たちは同時に、留学中またはその後に実務体験の機会があることを強く望んでいます。「フレッシュタレント (Fresh Talent)」制度や「外国人卒業生制度 (International Graduates Scheme)」といったイニシアティブを基礎として、新しいポイント制移民分類である「第一階層:卒業後 (Tier 1 Post Study)」は、留学生にさらなる機会を与えることを目的としており、留学生が学業修了後最長 2 年間働くことを認めています。

雇用の可能性は PMI2 全体を貫く大きなテーマであり、英国が海外で展開するマーケティング活動の中核を成しています。2007-08 年度には、卒業生キャリア支援サービス協会 (AGCAS)、高等教育キャリアサービスユニット (HECSU)、全英学生雇用サービス協会 (NASES)、全英実務体験協議会 (NCWE) などが参加するコンソーシアムが、留学生をサポートする様々な活動を実施してきました。以下が活動事例です。

- HECSU はパートナーと協力して、ウェブ上で英国と海外の雇用先組織のデータベースを開発。データには、卒業後の就職機会に加え、実務体験、インターンシップ、ボランティアでの仕事も含まれる。
- AGCAS 優秀賞と、外国人学生への対応の模範事例を数多く提供する AGCAS・NASES 加盟者についての昨年の調査に基づき、AGCAS と NASES は再び協力して模範事例と提案の普及に努めた。
- AGCAS と NASES は共同で、国際化と雇用可能性に関する多様なコース・資料を提供。キャリア・雇用などにかかわるスタッフ向けに、文化意識に関する技能訓練のための研修プログラムも実施されている。
- 2008 年、NASES 学生被雇用者賞で、総合優勝者にハル大学在籍のガーナからの留学生エマニュエル・アモア (Emmanuel Amoah) が選ばれた。留学生賞の受賞者はスウェーデン出身のタニヤ・ヒルバーク (Tanja Hillberg) を選出。同賞はさらに国際的な賞となった。
- イノベーション・大学・職業技能省 (DIUS) は、上記の PMI2 パートナーに加えて産業・高等教育協議会 (Council for Industry and Higher Education) と協力し、留学生の雇用のメリットと規制をめぐる情報の伝達に雇用者側が積極的に関与するよう働きかけている。
- 冊子『仕事への道筋 (Find Your Way to Work)』は、留学生と雇用者側に英国で働く上での規制についての最新情報を提供している。

2008 年の実績は以下の通りです。

AGCAS

- 幅広いスタッフ能力開発コース・資料を企画し提供。たとえば、留学生にアドバイスを与える担当者に向けたネット上の学習環境モジュール。
- 留学生アドバイザーが、関連するニュースや最新情報へアクセスできるなど、ウェブ上で情報や優れた事例をより効率的に共有できるようにするオンラインのウェブコミュニティとワークスペースを作成。

NASES

- 学びながら働いている、または働きたいと希望する留学生にアドバイスなどを提供する留学生向けウェブサイトをスタート。
- 職業紹介所が留学生を案内・指導できるようサポート。「就職活動へのパスポート」という一連の手引書を、全教育機関・カレッジ向けに開発。
- リバプール大学で NASES との協カパイロットプロジェクトを実施。留学生が他の学生や雇用者側と良好な関係を育めるよう支援する指導制度の開発を目指す。
- イングランド中部地方の雇用者、教育機関、事業者団体と協力し、留学生の語学能力を活用できる求人件数の増加を図る。